

## 第41回公正取引委員会契約監視委員会議事概要

1 日時 令和7年12月8日（月）10:00～11:50

2 場所 中央合同庁舎第6号館B棟11階 公正取引委員会 大会議室

3 出席者（Web形式にて出席）  
（委員）池谷委員、中村委員、南島委員

### 4 議事概要

（1）開会

（2）調達案件の審議

令和7年4月1日から令和7年9月30日までの間に締結した契約のうち、各委員が抽出した調達案件3件及び昨年度から継続1者応札になった案件1件の計4件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。

（3）閉会

意見・質問	説明・回答
1 令和7年度「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」の広報実施業務〔随意契約（企画競争）〕	
特設サイト（ランディングページ）の制作に関する審査項目で、受注者とその他業者間で点数に開きがあるが、これはどのような理由と考えられるか。	審査員それぞれの好みもあると思うが、特設サイトに起用しているキャラクターや全体的なトーンなどがフリーランス法の周知にふさわしいのかといった点や、フリーランスへの訴求力があるのかという点から審査を行った結果だと考えている。
昨年も同法の広報業務を実施したとのことだが、どの会社が受注したのか。	今年と同じ読売広告社が受注している。
ワークライフバランスの推進に関する指標のように資格の有無で点数が付けられる審査項目について、担当課としてどう思うか。	御指摘の審査項目は提出された資料に沿って自動的に加点するという項目と考えている。担当課としては、どのような業務を行っていただけるのか、緊急時に対応できる体制になっている等、業務内容、業務実施体制に重点を置いている。
企業側からすると、ワークライフバランスの資格等を取るのは苦勞するだろうし、緊急時の対応についても一朝一夕にできるものではないと考える。評価することに異存はない。	
本調達はフリーランス法の認知度及び理解度の促進を目的としたものだと思うが、認知度及び理解度が進んだという実感はあるか。	昨年度と同じキャラクターを起用していることもあり、様々な場面で反響等をいただいているが、理解度が進んだのかという点までは把握できていない。今後実施する効果測定で確認したい。
採点表を見るとかなりの僅差であり、事業者間で明確な差があるという印象ではない。そのため、配点の仕方が変わると結果が変わる余地があるのではないかと思ったが、来年度も実施する場合には、採点表のウェイトについて、どこか変更する予定はあるか。	昨年度も僅差で決まっていたところ、審査項目の設定や配点については、今回は昨年度から細かい調整を行ったうえで臨んだものである。 来年度も実施する場合には、再度調整を行いたい。
特設サイトはどこまでをターゲットにしているのか、どれくらいの理解度なのかの2点が重要である。閲覧者がきちんと説明を受けてから	来年度実施する場合には、特設サイトをどういった内容にするか等、検討したいと思う。

理解度診断に進むようにした方がよいかもしれない。	
--------------------------	--

意見・質問	説明・回答
2 公正取引委員会ホームページシステム運用支援業務〔一般競争入札〕	
<p>入札に参加しなかった業者は、公告されてから履行の開始までに体制を整えることができないとのことだが、入札に参加できるよう余裕を持たせることはできないのか。</p>	<p>次年度の予算が確定しない段階では案件の発注を確約することはできず、事業者に対して前広に案件の情報を提供することは難しいという事情がある。</p>
<p>契約の内容がどこまで適正かどうかを判断するために、前回の契約と比べて、どの程度金額が安くなっているのかといったデータは把握しているのか。</p>	<p>毎年の発注に当たっては、前年度の実績を勘案して例えば月何時間対応してもらうのが妥当であるといったことを考慮しつつ、また、近年では人件費の高騰に価格転嫁を受け入れる等、毎年の状況により異なるため一概に安くなっているかということは困難であるが、随意契約を行うに当たっては事業者によるいわゆる言い値にならないようにすることが肝要だと考えている。</p>
<p>人件費が高騰している中、今まで人が行っていたことがAIで省力化を図る等、技術的な変化についても目を向けていくとよいと思う。</p>	
<p>システムの運用支援は新規事業者が参入するのは難しいと考えているが、新規事業者に見積もりを出してもらうために工夫していることはあるか。</p>	<p>新規事業者の参入という面では、例えば体制さえ整えば見積りを提出できるというような事業者には、他にどのような条件の変更や緩和がされれば見積りを提出していただけるのかといったヒアリングを行っている。</p>
<p>第二期政府共通プラットフォーム及び貴委員会オンプレミスで稼働するサーバ等は今後も変わらないのか。</p>	<p>当委員会のネットワーク環境上、現在のホームページシステムでは、クラウドである第二期政府共通プラットフォームとオンプレミスの両方の環境を用いて行っているが、今後、当委員会のネットワーク環境がデジタル庁の提供するガバメントソリューションサービス、GSSと呼ばれるクラウド環境に切り替わるため、それに伴い、全てをクラウド環境にするといった構成に変える可能性はあると考えている。</p>

意見・質問	説明・回答
3 次期審査情報解析システムの調達支援業務〔一般競争入札〕	
落札率が66.6%となった理由について、どのように考えているか。	通常は、調達物品を取り扱っている事業者から参考見積りを徴収し、市況や積算資料などの価格に関する資料、同種案件の落札率などを勘案し、予定価格を積算している。本案件についてもこのように積算したところ、大きく値引きをしてきたという印象である。
入札説明書交付者数と入札者数に大きな乖離があるが、この要因は何か。	入札説明書をダウンロードした事業者のうち、入札に参加するためではなく、入札情報の収集が目的でダウンロードしていたと考えられる者が多数いたため、これが要因の1つと考えている。
入札説明書の交付者数自体が多く、情報収集のためのダウンロードを行った業者だけとは考えにくい。潜在的な入札者も存在したであろうことは忘れないようにしていただきたい。	承知した。
貴委員会の職員も、システムに精通していると思うのだが、本役務はどのような点で役に立っているのか。	当委員会の職員もある程度の知見は持ち合わせてはいるものの、専門的な知見については、持ち合わせていないため、その点助言をいただいている。
落札率が66.6パーセントと、予想以上に値引きが行われた理由は何か。	受注した事業者と話した感触では、受注実績を作りたかったようである。
入札者が予定価格に比べ、非常に低価格で入札に参加してきた場合、当該入札価格で本当に履行可能なのか心配だが、その点について、何か対応はしているのか。	落札率が非常に低い場合は低入札価格調査を行っているが、本件ではその基準価格を上回っていたため行っていない。
本件の履行状況はどうか。	順調に行われている。受注した事業者と当委員会で、次期審査情報解析システムの調達仕様書の内容について検討しているところである。
検討中の仕様書については、特定の1事業者しか応札できなくなるような工夫を行っているという理解でよいか。	御理解のとおりである。受注した事業者は入札制限により次期審査情報システムの調達に参加できないため、中立的な立場から多くの事業者が応札できるような仕様書を作成しているところである。

意見・質問	説明・回答
4 令和7年度企業情報、新聞記事等データベースサービスの提供（単価契約）〔一般競争入札、継続一社応札案件〕	
特命随契に変更するとした場合、現在の調達と何が変わるか。	<p>仕様に関しては基本的に変わらないが、手続面で変わる部分がある。本案件は日経メディアマーケティング株式会社以外の事業者は、日経テレコンと自社サービスを組み合わせるといった方法でしか仕様を満たせないため不利となっている。</p> <p>そのため、他省庁では、特命随契で行っているところもあるようである。</p>
特命随契で調達を行う際のルールや条件は何か。	<p>特命随契できる条件というのは、調達目的が競争を許さない場合である。その場合でも、当委員会では、一定金額以上の特命随契については、当委員会の随意契約審査委員会に諮る必要がある。</p> <p>しかし、本件については、いきなり特命随契を行うのではなく、入札可能性調査を行った上で、特命随契を行いたいと考えている。</p>
本案件について、毎年入札可能性調査を実施しているのか。	<p>昨年までは入札可能性調査を行わず、初めから一般競争入札で調達を行った。しかし、継続一社応札案件となってしまったため、調達方法の見直しを検討している。</p>
他省庁では特命随契をしているところもあるとのことだが、特命随契の場合、見積額が吊り上げられるというようなことはないか。	<p>特命随契に移行した途端に価格が吊り上げられてしまい、一般競争入札に付していたからこそ現在の値段で調達できていたというようなことは起こらないよう注意していきたい。</p>
特命随契にすると、今後ずっと特命随契が続くことになってしまうかと思うが、その点についてはどう考えるか。	<p>初めから特命随契とすることは、潜在的な入札者を排除してしまうことになるため、特命随契をする場合でも、何年かに一回は入札可能性調査に付すというように、競争を確保するような手続を模索しながら行うことが大事だと考えている。</p>